

令和6年 第3回 白馬村議会定例会 産業経済委員会報告

本定例会において、産業経済委員会に付託された案件は議案4件です。審査の概要と結果を報告します。

議案第41号 白馬村水道事業及び下水道事業条例の一部を改正する条例について
白馬村水道事業において、持続可能な事業経営を行うべく適正な料金水準による給水収益の確保を目的として、水道料金等を改正するもの。

【質疑・意見】

問 今後も料金を上げる可能性は、また財政シミュレーションを行った中で、料金改定以外のところで財政の健全化をどう考えているのか。

答 財政シミュレーションの結果を踏まえると、今後20年は上げる試算となる。
また有収率の改善や水道水の商品開発、事業費の削減など水道事業の健全化を図り、5年ごとに料金見直し時に、上げ幅を抑えていく努力をしていく。

問 加人口数の増加分をどの程度見込んでいるのか、また収益はどのくらい上がるのか

答 口数は増えているが水量的には、減っていく見通しで試算している、昨年12月時点で開発が決まっているものも含め、シミュレーションしている。また、年7,000万円から9,000万円の増収を見込んでいる。

討論 賛成。40年改定していなかった水道料金を改定することは理解できるが、近年物価高でもあり生活費が上がっていることも考えると、十分な周知を図っていただくとともに、上げ幅を抑えられる努力をしてほしい。

採決したところ、議案第41号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第43号 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第3号)所管事項

《農政課関係》

林業振興費357万1千円の増額の、主なものはクマ用の捕獲檻やセンサーカメラ等の備品購入費によるものと、ナラ枯れの新たに発生した八方地区スキー場への被害木伐倒負担金です。過年発生農地農林業施設災害復旧費3,558万4千円の増額は令和5年12月16日発生の黒豆沢土砂災害に係る工事費で、不可視査定後の現地状況の実態が明らかになったことによる増工分によるものです。現年発生農地農林業施設災害復旧費1,368万円の増額は、令和6年6月30日発生の災害復旧費に係る実施設計委託料等工事費によるもので、飯田地区の水田畦畔と堀之内地区の河川谷内川頭首工の災害復旧です。

【質疑・意見】

問 昨年に引き続き熊の出没が多い。過去にも2年連続で多いということはあったのか。また今回の補正については、今後の熊対策を含めたものなのか。

答 熊の大量出没は4年に一度のサイクルになっているが、昨年の8月末の35件に対し、今年は60件程度と倍増している。今後新たな対策を考えていくことは必要だと考えるが、今回の補正は猟友会の報酬と檻やセンサーカメラの拡充をするためである。

問 ナラ枯れ対策は、危険個所を優先的に行なっていると思うが、スキー場については違った考え方になるのか。また、これからも広まっていく、負担金の支出方法について基準を示さないと不公平ではないか。

答 基本的な考え方は同じだが、スキー場は多くの方が利用する施設であり、特に八方は黒菱林道も含まれている。リスク管理を考え、スキー場がやることに対しては負担をする。今年は八方に支出をする。また所有者責任ということを念頭に置きながら、危険リスクの管理については、優先して行う。

意見 ナラ枯れは村民の間でも問題視されている。しかし、基本的に山は全て村のものではなく、個人所有もある。山を所有している方にも管理に協力してもらうために、早めの注意喚起をお願いしたい。

《観光課関係》

観光総務費340万7千円の増額の主なものは、デマンドタクシー運行事業のシステム改修等委託料317万7千円で、定額定期券等のシステム変更や乗降時ステップ取り付けに対する補助金31万7千円によるものです。山岳観光施設維持補修事業60万円の増額は、大雪渓ルートの全閉鎖に伴い、山案内人組合等関係者による新たなクレパス等を見極めながらの、新ルート可能性調査による委託料です。観光宣伝振興費335万7千円の減額は、21観光戦略事業、白馬・松本臨時便運行委託料404万8千円増額と二次申請で採択になったことによる財源組替の、デジタル田園都市国家構想交付金事業の800万円減額によるものが主なものです。

【質疑・意見】

問 定期券について、当初からの計画だと思うが、開始は12月か。また、AIが始まる前は免許を自主返納された方に対して、回数券を渡していたと思うが、今後はどうなるのか。

答 定期券は、12月1日に開始できるように調整したい。免許の自主返納については、総務課で行なっている安協の政策となるため別になるが、並行して使えるような形を考えている。

問 白馬松本間の臨時便運行について、昨年も乗車が少ない状態である。昨年と変わった部分は。

【答】 昨年の反省事項として、移動時間が長いにも関わらず滞在時間が短い点があげられており、出発時間を午後1時から朝の時間帯へ変更を検討している。またJRの利用についても、バスとの選択肢が広がるように作成するチラシに時刻表を記載するなど工夫する。

【問】 デジタル田園都市国家構想交付金について、5年計画で通らなかった事業はもともとどういった事業なのか。

【答】 お客様の情報を一元化して、ワンストップでスキー場に行かなくてもチャージでリフトに乗ることができる「白馬カード」や、ふるさと納税をして、直ぐにリフト券を使えるようにするなどができる仕組みづくりの「マイポータル」事業です。5年計画ではアプリ化や、システム改修など、幅のある計画としていたが、通らなかったため、事業内容を縮小させ3年計画になった。

【問】 5年だと2億5千万円だが、3年だといくらになるのか。予算の時は交付税措置があり、実際の持ち出しは500万円という話があったが、持ち出し金額は変わるのか。

【答】 1年目が4,200万円となるため、3年で総事業費は1億4,200万円となる。この2分の1が補助金、残りの8割は交付税で返って来るといった仕組み自体は変わらない。

《建設課関係》

道路維持費3,770万8千円の増額の主なものは、除雪機械整備事業3,619万円で、昨年10月10日におきた、ロータリー付き除雪機械のトラック積み込み時に先端ロータリー部落下事故・破損の為、新車購入費を予算するものです。都市公園費166万1千円の増額は管理事業を行うカッパの館の修繕工事によるもの。現年発生公共土木施設災害復旧費4,135万円の増額は、6月30日の大雨により、花園集落に通じる村道307号線の、法面崩落が起きたことによる、国庫負担金を活用した災害復旧を行うものです。

【質疑・意見】

【問】 破損したロータリーの算定は、348万円であったとのことだが、相手方との話し合いはこれからするのか。

【答】 348万円が損害額という形を算定されているため、一つの考え方として、損害賠償で請求する方法があるが、相手方は過失を認めない状況であるため、最終的に裁判になり、結論が出るまでにおよそ3から4年かかることが想定される。また、裁判の結果によっては、全額が取れない。裁判をするということは、村にもリスクがあり、相手方もおそらく裁判はやりたくない、交渉の中で感じ取っている。協議をしていく中で、買い替えるといった方向で歩み寄りたいと考えている。

【問】 3,619万円という補正予算は、実質支払額の金額であり、事故で使えなくなったロータリーの代わりに、もう一台注文を出したいということか。また保証という考えは度返して、新しく発注をかけたいということか。すぐに発注をかけたとしても冬までに間に合うかがわからないため、ここに出ているという解釈で良いのか。

【答】 そうである。現在、使用不可車両を下取りに出した。購入は一台新しく更新するということになるが、保証を度返しするというわけではなく、保証が確定するのかは、何年か先になるので、天秤にかけた。相手方が、相応の額として示すことができるのであれば、無理に保証額を取りに行かず、機械の更新時期もあるため、この金額は村にとって有利であると判断した。結果的には更新になった。

【問】 事故の過失を認めていない業者と今後も取引を続けるのか。過失を認めていない業者から、また購入するという話だと理解したが、そこに関しての考え方は。

【答】 今回のケースは、お互いの主張を繰り返している状態。例えば点検に出し、金額を支払っていても、きちんと事業ができていなければ、今後除外するといった選択肢も出るが、今回は、示談の方向になると考える。

【問】 業者は、村のロータリーの取り付けが原因という言い分があるとのことだが、今後一切お互いの過失については問わないようにすると話をつけるということか。

【答】 示談となると法律上の話になるが、書面に残すということをした方が良く考えている。また、再発防止策を考える。

《上下水道課》

環境衛生費158万3千円は、公営企業電力価格高騰対策支援事業によるもの。

公共下水道事業費100万円の増額は、公営企業電力価格高騰対策支援事業によるものです。

【質疑・意見】

無し

全体を通しての討論はなく、採決したところ議案第43号委員会所管事項は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第45号 令和6年度白馬村水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入に158万3千円増額し3億2,580万5千円、収益的支出に241万8千円増額し3億668万8千円、予算第4条本文括弧書「不足する額7,615万5千円」を「不足する額1億7,795万4千円」に改め資本的支出の予定額を1億179万9千円増額し2億8,447万6千円とするものです。収益的収入では、電力価格高騰対策交付金による増額。収益的支出では、源太郎配水池修繕工事による増額や人事異動に伴う人件費の増額などによるものです。資本的支出では、二股浄水場原水流量計の故障による工事請負費の増額や投資有価証券購入費によるものです。

【質疑・意見】

無し

討論はなく採決したところ、議案第45号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第46号 令和6年度白馬村下水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入に100万円増額し4億8,624万7千円とするもの。

内容は、電力価格高騰対策交付金の計上による増額です。

【質疑・意見】

無し

討論はなく採決したところ、議案第46号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

以上、産業経済委員会の審査等についての委員長報告いたします。